

地域に根付いた科学啓発活動 鳥取大学発「出前おもしろ実験室」プロジェクト

技術部

社会貢献

4 質の高い教育を
みんなに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



【活動概要】

「出前おもしろ実験室」は、子どもたちに理科・科学への興味・関心を深めてもらうことを目的として行う出張形式の体験型科学実験教室です。

技術部では、平成18年に「鳥取大学発『出前おもしろ実験室』プロジェクト」を立ち上げ、これまでに延べ7000人以上の子ども達に科学のおもしろさ・楽しさを伝えています。小中学校だけでなく、特別支援学校や聾学校、保護者からの実験室開催依頼や、小学校教員からの授業支援・教員向け研修会の依頼が多く寄せられており、広く科学教育に貢献し、地域のイベントや公民館事業を通して「理科好き」の子どもが育つ環境づくりに寄与しています。技術職員が持つ化学、電気、機械等の様々な分野の専門知識を活用した「出前おもしろ実験室」を提供することで、子どもたちに科学や工学、ひいては鳥取大学の魅力を発信しています。更に、アート要素のある科学工作やロボットのプログラミング体験などを試み、STEAM教育を目指しています。

また、プロジェクトに興味を持った本学学生とともに活動しており、子どもたちへの実験指導や実験教材の開発、研究会への参加などを通して本学学生の科学力・人間力向上につなげています。



小学校での実験室の様子



中学校での実験室の様子



小学校教員向け研修会の様子

【担当】 技術部



サステナブルキャンパス形成の推進

事務局

大学運営

11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を

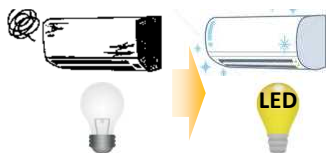


【活動概要】

「鳥取大学環境憲章」において制定した環境基本方針（省エネルギーの取組・廃棄物の削減・化学物質の適正管理等）に基づき、サステナブルキャンパスの形成を推進します。

省エネルギーの取組

高効率機器の導入及びエコアクションパトロールを実施するとともに、光熱水の使用量を学内Webに公表することにより省エネ効果を共有し、省エネルギーの取組みを推進しています。



省エネに資する施設整備
(高効率機器導入)



省エネに関する意識啓発

廃棄物の削減

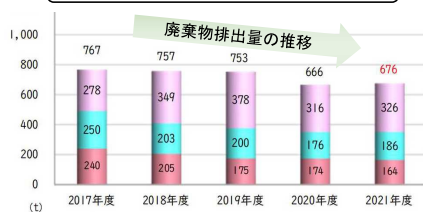
鳥取市から「ごみ減量等推進優良事業所」として認定され、一般廃棄物再資源化・減量化を推進しています。



新入学生に対し、環境手帳を配布し、ごみの分別方法を周知するとともに、大量消費・大量廃棄から減量・再利用に意識を転換する啓発を行っています。

また、教育研究活動を通じて発生する余剰試薬の相互活用を円滑に進めるシステムを構築し、試薬の廃棄量を削減する取組みを進めています。

ごみ分別の徹底・再利用の推進



出典：鳥取大学環境報告書2022

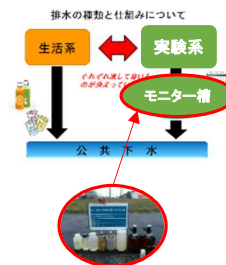
一般廃棄物削減状況

化学物質の適正管理

教育・研究においては、環境や健康に有害な化学物質を使用することがあるため、その適正管理を徹底するとともに、汚染防止に努め、大学及び地域の環境保全と健康被害の未然防止を図っています。



(実験廃液の回収)
化学実験で生じた実験廃液は、専用容器で回収し、適正に処分しています。



(予防的対応)
化学実験で使用した器材等は、専用の実験流して洗浄しており、その洗浄水はペーパーモニターで常時監視するとともに、定期的に水質測定を行い、適正な水質であることを確認しています。

水質測定の実施

【担当】 施設環境部

多様な個性・価値観を尊重し
偏見、差別、ハラスメントのないキャンパスづくりを目指す

事務局

大学運営



【活動概要】

少子高齢化を迎えた日本社会が、その活性を維持しつつ、より豊かな社会へと変化するためには、広汎なダイバーシティ（多様性）を受け入れる社会、すなわち性別、年齢、障がいの有無など多様な人たちの生き方を尊重し、必要な時期に必要な支援を行うことにより、その能力を最大限に発揮できる社会を実現することが課題となります。

ダイバーシティキャンパス推進室では、性別、性自認・性的指向、障がい並びに様々な国及び環境のもとで生まれ及び育ちなどによる、多様な個性・価値観を尊重し、偏見、差別及びハラスメントのないキャンパス作りを目指しています。

休憩室&相談室の開設



相談対応



関係書籍・DVDの閲覧／貸し出し
ニュースレターの発行

支援活動



研究者支援、ライフイベント支援



女子学生のキャリア支援

セミナー・講演会など啓発活動



コミュニケーションスキル



ライフプラン・介護・LGBTQ等

【担当】ダイバーシティキャンパス推進室 総務企画部人事課
連携：鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センター

鳥取大学カーボンニュートラル宣言について

研究推進機構
研究推進部

教育、研究、社会貢献、大学運営



【活動概要】

本学では、鳥取砂丘の砂防造林の研究を端緒とする乾燥地研究をはじめとする環境問題に関する様々な研究を通して、地域・国・世界への貢献に取り組んできました。このような活動を一層加速し、脱炭素社会、カーボンニュートラルの実現に貢献するため、本学では令和4年6月28日にカーボンニュートラル宣言を発出しました。また併せて、カーボンニュートラル行動方針を推進します。

『鳥取大学カーボンニュートラル宣言』

鳥取大学は、二酸化炭素排出量を、2030年に2013年比60%、2040年には75%削減し、遅くとも2050年までに、実質的なカーボンニュートラルを目指します。そのため、温室効果ガス排出削減に資する本学独自の研究およびイノベーション創出を推進します。

■鳥取大学カーボンニュートラル行動方針

- ・省エネルギー、資源節約の徹底、低二酸化炭素排出量の電力事業者との契約導入、再生可能エネルギーの利用拡大。
- ・浜坂地区における先行取組、湖山地区におけるイノベーション・コモンズ構想、米子地区におけるスマートホスピタル構想の推進。
- ・地球温暖化・気候変動、グリーンエネルギーの創出、次世代二次電池、エネルギー削減や二酸化炭素排出削減に資する固体触媒、低炭素社会を目指した社会基盤構築、温室効果ガスを排出しにくい作物開発、未利用生物資源の有効活用など、本学ならではの研究活動および関連する産学連携活動と研究成果の社会実装の推進。
- ・環境に関わる一般基礎教育、専門教育、SDGsの達成に取り組める人材の育成を更に加速し、カーボンニュートラル実現に貢献できる人材を教育・育成。
- ・地方自治体および地域の産業界、金融界との緊密な連携による、地域におけるカーボンニュートラルの推進。



地球温暖化、気候変動に関わる研究拠点：
乾燥地研究センターのアリドドームと社会
実装を目指すパタフライ風車（浜坂地区）

【担当】研究推進機構、研究推進部